

やすらぎ通信

第46号（平成26年9月1日） 発行：大阪府立急性期・総合医療センター

長月(ながつき)

うさぎ

作詞・作曲 不詳

うさぎ うさぎ
なに見てはねる
十五夜お月さま
見てはねる

うさぎ うさぎ
なに見てはねる
十五夜お月さま
見てはねる



喫茶室

いよいよベストシーズンとも言われている秋の到来です。9月の声を聞くとまだまだ残暑は続くとは言いながら朝夕に少しずつ空気感の違いを感じるようになってきます。秋の空気はどことなく夏とは異なり透明度が高く、空が遠くまで澄み渡っていいように見えます。このような澄んだ空を特に感じる機会が普段なかなか空を見上げない人でもニュースなどで話題に上ると観てしまう中秋の名月です。

澄んだ夜空にくっきりと月の海がうさぎの餅つきの形にも見える真ん丸いお月さまは、さわやかな秋の到来を私たちに印象付けてくれます。今年の中秋の名月は9月8日(陰暦8月15日)でお子様のいるご家庭ではお月見団子とススキをお供えになるところもあるでしょう。この月を鑑賞する風習は古代中国から伝えられた行事で日本では9世紀末の頃から宮中で月見の宴が行われていたようです。なお、本家中国ではもともとはサトイモの収穫祭と重なっていたようでその影響か我が国でもサトイモをお供えに加えることもあります。

ところで、月にはウサギが住んでいるというお話、昭和の時代にアポロ11号が月面着陸を果たして以来すっかり色褪せた話になってしまいましたが、昔の子供たちにとってはなかなか夢のある話だったと思えます。このような話が生まれた一説には、仏教説話集「ジャータカ」の中のお話しで今昔物語にも取り入れられている月のウサギの話が有名です。ご存知の方も多いかもかもしれませんが少し紹介しますと、猿、狐、兔が山の中で力尽きて倒れている老人に出会った。三匹は老人を助けようとして猿は木の実を集め、狐は川で魚を捕り、老人に与え感謝された。しかし兔だけはどんなに苦勞しても何も採ってくる事が出来なかった。自分の非力さを嘆いた兔は何とか老人を助けたいと考え、猿たちに火を熾してもらおうと自分を食べてもらうためにその炎の中に飛び込んだ。老人は実は帝釈天(仏教の守護神の一つ)で、兔の捨て身の慈悲の行いをすべての生き物たちに見せるために兔を月に昇らせた。そのため月に見える兔の姿の周囲に影が見えるのは兔が自らの身を焼いた際の煙だという。昔の人は子ども達とお団子を食べながらこの話をして他者を慈しむことの大切さを伝えたのかもしれない。でも、とても良いお話ですが何か少しウサギがかわいそうな気がします。

さて、今月の節気は白露と秋分です。秋分は秋の半ばであり、「彼岸の中日」とも言われ国民の休日であり、ほとんどの方はご存知でしょう。一方、白露の方はあまり知られていませんが、露が白々と結ぶ頃であり秋の予兆が現れる時期といったところでしょうか。なお、今年白露は9月8日中秋の名月の日と重なります。

白露の頃には朝早起きして庭に出てみると草に宿る露が白く見え、知らない間に秋がひっそりと忍び寄ってきていることを感じる事が出来るかも知れません。やがてその小さな秋の気配は秋分にかけて勢いを増し、ついには彼岸花が青い空、白い雲をバックに赤く美しく咲き乱れる季節となります。実りの秋、芸術の秋、いろいろ称えられる本格的な秋はもうすぐそこに来ています。

【(新) ～地域の医療機関の皆様へ～呼吸器内科から一言】

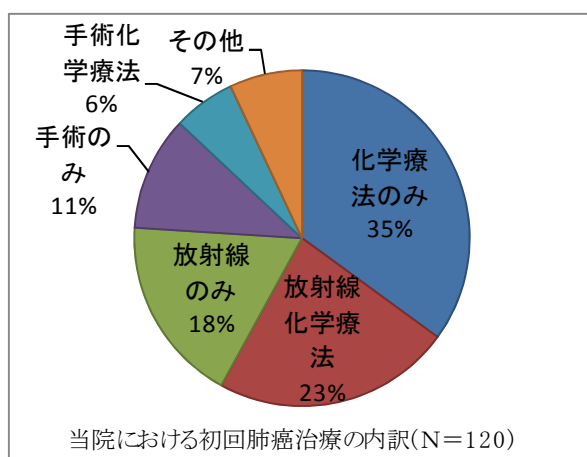
最近のデータによると、日本人の2人に1人が癌にかかり、3人に1人が癌でなくなる時代です。その中でも肺癌は死亡者数のトップの難治性癌のひとつです。

肺癌の治療方針決定には、肺癌の病理診断が重要になってきました。従来は小細胞肺癌とそれ以外の非小細胞肺癌の2種類の分類で十分でしたが、近年の検討により、一部の抗癌剤は、非小細胞肺癌のうち、扁平上皮癌以外の癌、特に腺癌により効くものが出てきています。また、分子標的治療薬の進歩で、特定の遺伝子の変異のある癌(EGFR, ALK)での分子標的治療薬の治療効果が高いことが解ってきました。

そのため、従来の気管支鏡に加えて、中枢型や末梢型の超音波気管支鏡を使用し、診断率の向上に努めています。

肺癌の治療には、抗癌剤、手術、放射線が挙げられますが、近年、複数の治療を加えた集学的治療が行われています(図参照)。当院には呼吸器内科、呼吸器外科、放射線診断科が揃っており、そこに画像診断科、病理科を加えた肺癌治療カンファレンス(Cancer Board)をもち、より良い治療を検討しています。

肺癌が疑われる患者さんがおられましたら、ご紹介よろしくお願ひします。



呼吸器内科主任部長 上野清伸

【～地域の医療機関の皆様へ～口腔外科より】

医科歯科連携で予防する骨代謝調整薬起因顎骨壊死について

骨代謝調整薬の副作用として、顎骨壊死・顎骨骨髓炎が数%の頻度で発症することが報告されています。これまでの報告では発症した骨壊死は難治性で根本的な治療法は確立されていません。顎骨壊死・顎骨骨髓炎の誘因として抜歯などの顎骨に対する外科的処置やう蝕、歯周病(歯槽膿漏)による口腔の不衛生が挙げられています。本薬剤の治療前に口腔清掃実施群、未実施群で顎骨壊死・顎骨骨髓炎発症頻度を検討した結果、口腔清掃未実施群で812例中27例(3.3%)が発症したのに対し、口腔清掃実施群では154例では1例(0.6%)であったと報告されています。また、歯科処置前に抗菌剤投与が行われた43例では発症無く、抗菌剤投与を受けなかった群では32例中8例に骨壊死がみられたとも報告されています。

骨代謝調整薬による顎骨壊死を予防するためには医科歯科連携の治療が欠かせません。具体的には骨代謝調整薬治療開始前に口腔内検査を行い、歯科治療を終了させ

て口腔内の状況を改善しておくことが最も重要です。また改善された口腔衛生状態を良好に保つためにも定期的な経過観察も欠かせません。更に、治療が開始された後に歯科治療が必要となった場合には、できる限り非侵襲的（抜歯などを避ける）な歯科処置に限定する必要がある、治療時には適切な抗菌剤投与が早期に開始されることが重要となります。また一部の薬剤では休薬することで骨代謝が改善することから休薬の可否、休薬期間、代替え薬への変更など処方医との連携が必要です。

顎・口腔領域の診療を通じて、地域医療に貢献していきたいと存じますので、なにとぞよろしく御願い申し上げます。

歯科口腔外科主任部長 石原 修

【～地域の医療機関の皆様へ～小児医療センターからのお知らせ：小児救急受入れ拡大のご案内】

府立急性期・総合医療センター小児科をご支援いただき誠にありがとうございます。少し先送りになっていますが、府市共同住吉小児医療センターの開設に向けて、“地域の患者さんを1次から3次まで受け入れる小児医療センター”を目指していきたいと考えております。

休日・夜間病診連携カードを導入しました

これは患者さんがかかりつけの先生を受診され、“今は大丈夫だけれども夜間や休日に病気が悪化するかもしれない”とかかりつけの先生が判断されたときに、かかりつけの先生から患者さんに渡されるカードです。このカードには病名と簡単な病状が書かれており、これを持って当センター時間外救急を受診されると、紹介患者さんと同じように小児科当直医が診療いたします。ただ、夜間や休日は小児科医が1-2人で対応しますので、カードをお持ちでも病状によってはお待ちいただくことがございますが、ご了承ください。

2013年12月よりこのカードを導入し、毎月約20名の小児患者さんがこのカードを持参して当センター時間外救急を受診されています。少しでも地域の患者さんの安心が得られるように、かかりつけの先生と連携を取って診療にあたりたいと考えています。

大阪府立急性期・総合医療センター 小児科 休日・夜間診療連携カード	
様 平成 年 月 日生	
診断名:	
病状・検査所見など:	
<small>上記患者様は当院かかりつけの方です。 登録と承認された際には、紹介書等として対応下さるよう、お願いいたします。尚、その旨を指院にご案内いただければ、診療に関する情報を相互に提供することについて、患者様から許可をいただいております。</small>	
有効期限	平成 年 月 日から5日間
登録医療機関名	

小児重篤患者さん(小児内科疾患の3次救急)の受け入れを拡大しました

これまでも外傷や心肺停止の重篤な小児患者さんを当救命センターが受け入れてきました。

2014年5月より、小児救命救急で修練した小児科医を迎え、小児内科疾患の重篤患者さん、例えば 血漿交換や持続的血液透析が必要な患者さん、低体温療法を必要とする脳炎・脳症の患者さんなどにも受け入れを拡大し、当救命センターで小児科医と救急診療科医師とで集中治療を行います。

たとえ地域の小児患者さんが重篤な疾患にかかっても、自宅から近いところで十分な医療が受けられるように、当センターで小児重篤患者さんの受け入れ拡大をしていきます。

小児救急科部長 高野智子

【～地域の医療機関の皆様へ～ 神経内科からの一言二言】

神経内科からのお礼

昭和 62 年 9 月、当院の近代化の施策の一つとして神経内科が併設され四半世紀が経ちました。皆様方のご支援により府域を代表する神経内科に発展して来ました。心より御礼申し上げます。昨年度、皆様方からご紹介いただきました、いわゆる紹介率は 98.4%と高率でした。入院症例も 920 名を超え、脳梗塞と神経難病が中心ですが、大部分が皆様方からの御紹介でした。逆紹介率ですが昨年度は 96%と若干低値でしたが、24 年度は 100%を超え、地域連携は良好な関係を維持していると思っています。皆様方の信頼を損ねないよう努力しますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成 27 年 1 月に難病法制定か

平成 27 年 1 月に、難病法が制定され、4 月ごろから実際に運用されると言われています。現在当センターは府域唯一の難病の拠点病院として責務を果たしています。神経内科はその中心的役割を果たしておりますが、おそらく難病法制定後も同様の役割を担うことが予想されます。神経難病を地域の先生と連携して支援する事業の継続を今後もよろしくお願い申し上げます。

脳梗塞の rt-PA（血栓溶解療法）の使用可能時間が発症 3 時間以内から 4.5 時間以内 に変わって、なにか変化があったでしょうか？

平成 24 年 9 月から発症 4.5 時間以内が使用可能と延長されました。合併症や効果は 3 時間以内使用可能時と変化はないとの報告が大部分で、今後もさらに使用可能時間の延長が検討されるでしょう。問題は、全国的にも、当科においても同様ですが、rt-PA 例の増加が思ったほど伸びないということです。平成 25 年度の脳卒中センター入院患者 431 名中救急隊からのホットライン経由は 50%の 216 名でした。100%ホットライン経由が理想と考えられ、患者さん自身への教育、すなわち「脳梗塞は急性疾患であり、おかしいと感じたらすぐ 119 番で救急車を呼ぶ」というパブリックキャンペーンが重要と思います。一次予防、二次予防目的で貴院通院中の患者さんへの教育もよろしくお願い申し上げます。

神経内科主任部長 狭間敬憲

【(新) 病院機能評価の認定を取得しました】

このたび、当センターは、公益財団法人 日本医療機能評価機構による病院機能評価、新評価体系 3rdG:Ver1.0 の認定を取得しました。

病院機能評価とは、公益財団法人 日本医療機能評価機構が設定した評価基準に基づき、同機構が第三者として中立的な立場で、医療機関を実際に訪問して審査を行い、病院の優れている点や課題を評価するものです。審査の結果、各評価項目が一定の水準を満たしていると判断された場合、「病院機能評価認定証」が発行されます。(当センターの「病院機能評価認定証」は、本館 1 階のアトリウムに掲示しております。)

当センターでは、この認定を取得した後も慢心することなく、引き続き、理念に従って良質な医療を提供し、府域の医療水準の向上に貢献できるよう努めてまいります。

【(新) 地域がん診療連携拠点病院に指定されました】

当センターは、今年 8 月より、厚生労働省指定「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。全国どこでも質の高いがん医療を提供できる体制づくりを推進するため、地域のがん医療の中核となる医療機関として認められた病院が「地域がん診療連携拠点病院」として選ばれます。

病院の役割には、①専門的ながん医療の提供、②地域のがん診療連携体制の構築、③がん患者に対する情報提供や相談支援の実施などがあります。

今回の指定を受けて、今後は拠点病院指定要件の整備をさらに充実させるとともに、地域の医療機関との一層緊密な連携を図り、継続的全人的な質の高いがん医療の提供に努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

【「医療相談」コールセンターのご利用を ー地域医療連携センターー】

患者さんやご家族などからの医療や病院利用に関するご相談を、専門の看護師が電話でご相談に応じさせていただく「医療相談」コールセンターを開設運用しております。是非お気軽にご利用ください。

電話番号は 06-6692-2800 (専用電話回線)

06-6692-2801 (専用電話回線)

相談日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

(年末年始、土・日・祝日除く)

相談対象 医療相談を希望されるご本人若しくはご家族等

相談員 看護師

【診察予約変更センター 9診療科において診察の予約日・時間の変更を電話で受け付けています！】

当センターでは、下記の9診療科を対象に、電話で診察時間の予約の変更ができるよう「診察予約変更センター」を設置しています。是非、積極的にご活用ください。なお、このサービスは初診に関しては行っておりませんので、ご注意ください。よろしくお願いいたします。

(電話番号) 06-6692-1201(代表)にダイヤルして
「予約変更センター」と言ってください。

(受付時間) 午後3時～午後5時(平日のみ)

(対象診療科) 呼吸器内科 消化器内科 糖尿病代謝内科
皮膚科 形成外科 腎臓・高血圧内科
神経内科 脳神経外科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

【入院治療費や外来での検査費用の概算を予めお知らせするサービスをしています】

当センターにおきましては、入院患者さんへのサポートを総合的・集約的に行う入院センター（やすらぎセンター）におきまして、ご入院申し込み時に予め標準的な治療を行った場合の概算費用をお知らせするサービスを行っています。

また、CT、MRI、RI、エコー検査など検査費用の概算を医療・福祉相談コーナーなどでお知らせするサービスも行っていきます。

今月の催し

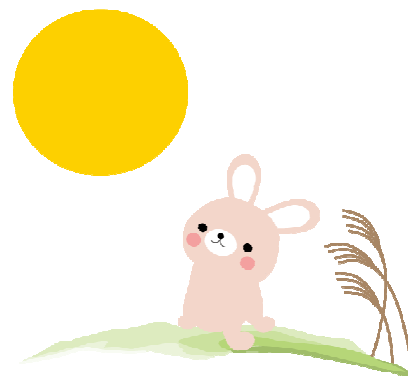
【すこやかセミナー「成人ぜんそく治療のポイント

～喘息専門外来の目指すもの～】

日 時 9月11日(木) 午後2時～3時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 免疫リウマチ科主任部長 藤原弘士
参加費 無料

【府民公開講座「ほくろのように見えるガン】

日 時 9月13日(土) 午後1時30分～3時
場 所 本館3階 講堂



講 師 皮膚科部長 中島武之
参加費 無料

【相愛大学連携 第 40 回外来糖尿病教室】

知って得する！ 糖尿病との付き合い方】

日 時 9月17日（水） 午後2時～
場 所 本館1階 アトリウム
内 容 あなたの結果はどうでしたか？～検査の話～
（糖尿病代謝内科医師 清水彩洋子）
腎臓の働きと検査のお話し（臨床検査科検査技師 谷 恵理子）
脂質について（相愛大学人間発達学部准教授 角谷 勲）
参加費 無料

【(新) 第 3 回 腎臓・高血圧内科教室】

日 時 9月18日（木） 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
内 容 腎疾患の血圧管理（腎臓・高血圧内科医長 富田弘道）
腎臓を守る塩分のお話（栄養管理室管理栄養士 隈元理香）
参加費 無料

【第 25 回万代・夢寄席「桂かい枝 秋の落語独演会」】

日 時 9月24日（水） 午後2時～3時
場 所 本館3階 講堂
出 演 落語家 桂かい枝
参加費 無料

【すこやかセミナー「がんと診断されたときから緩和ケア」】

日 時 9月26日（金） 午前11時～12時
場 所 本館3階 保健教室
講 師 がん性疼痛認定看護師 川本良子
緩和ケア認定看護師 門田昭子
参加費 無料

【第 13 回病院ギャラリー企画展 須田剋太「街道をゆく」挿絵原画展

— 近江散歩 — 】

『街道をゆく』は、司馬遼太郎氏が、1971年から1996年まで、25年以上にわたっ

て週刊朝日に連載し、単行本にもなっている歴史紀行文学です。国内各地はもちろん、中国やモンゴル、さらには遠く南蛮(スペイン、ポルトガル)やオランダ、アイルランドをはじめ世界各地の街道も訪ね、司馬氏の洞察力に富んだ味わい深い文章により、その国や地域の歴史と風土を描いています。須田剋太は連載開始から1990年までの約20年間、司馬氏に同行してスケッチを重ね、「街道をゆく」の挿絵を制作しました。

それらの作品は、挿絵として各地の雰囲気や読者を楽しませるだけでなく、独特の画風で色彩豊かに描かれ、絵画作品としても優れたものとなっています。[大阪府立江之子島文化芸術創造センターホームページ内の解説文より抜粋]

今回は第12回に引き続き、須田剋太が描いた「街道をゆく」シリーズの中から『近江散歩』を紹介させていただきます。

(本企画展は、大阪府江之子島文化芸術創造センターのご協力を得て実施します。)

開催期間 8月4日(月)～11月7日(金)まで

展示場所 本館2階 病院ギャラリー

展示作品 近江街道 28枚

【(予告) 第34回相愛大学連携コンサート「ピアノデュオ」】

日時 10月23日(木) 午後2時～3時

場所 本館3階 講堂

出演 ピアノ演奏 植田味香子

橋元泉穂

参加費 無料

【(予告・募集) 作品展(コスモス会の開催と作品の募集について)】

今年も当センターとコスモス会の共催による作品展を10月27日から29日の間、本館3階講堂で開催する予定です。つきましては、出展作品を下記のとおり募集いたしますので、皆さん奮ってご応募ください。

応募資格 患者さんとその家族及び病院関係者

応募方法 出展ご希望の方は、当センター総務グループ(06-6692-1201内線2313)へお問い合わせください。

応募作品例 絵画、写真、書道、手芸ほか

作品受付日 10月27日(月) 午前9時～10時

作品返却日 10月29日(水) 午後4時～5時



【 管理栄養士のコーナー 】 ~ちょっとおいしい話~



今年の夏も暑い日が続きましたが、体調を崩されていないでしょうか？食欲がないときは、どうしても麺類やアイスなど冷たくのど越しの良いものを食べてしまいますよね。しかし、そればかりでは栄養バランスが偏りがちです。ごはんやパンなどの主食、肉・魚・卵・大豆製品などを使った主菜、野菜を使った副菜がそろっていますか？いま一度、自分の食生活を見直してみましょ。

今回は、夏バテ気味で弱った胃腸にもやさしい、消化吸収の良い豆腐を使ったメニューをご紹介します。

《材料》	(1人分)	(2人分)	☆水溶き片栗粉☆	《材料》	(2人分)
絹こし豆腐	100 g	200 g		だし汁	20 ml
にんじん	30 g	60 g		片栗粉	大さじ 1/2 杯
ピーマン	1/2 個	1 個		生姜	お好みで
たまねぎ	25 g	50 g			
しいたけ	1/2 個	1 個			
だし汁	100 ml	200 ml			
しょうゆ	小さじ 1 杯	小さじ 2 杯			
みりん	小さじ 1 杯	小さじ 2 杯			

(1人前) エネルギー：103kcal たんぱく質：6g 脂質：3.1g 食塩相当量：0.9g

- ① 豆腐を電子レンジで1分半程度温め、お皿に乗せる。
- ② 鍋にだし汁、千切りにした野菜、しょうゆ、みりんを入れて煮る。
- ③ 火が通ったらだし汁にすりおろした生姜と片栗粉を溶いて加え、とろみがついたら豆腐にかけて出来上がり。

☆顆粒だしの多くは塩分が添加されています。かつおや昆布などの天然のだしを利用して減塩に取り組みましょう。

あんに生姜を入れることで薄味でもおいしく食べられます。

☆暑いときは、あんを冷やして冷奴の上にかけてもおいしいですよ。

また、冬は白菜や大根などの野菜を利用してOK！季節ごとに旬の野菜や冷蔵庫の残り野菜などを使用すれば1年中楽しめるメニューです。

栄養管理室 管理栄養士 笠井香織

今月のひまわりさん

各種窓口でセンターご利用のお手伝いをさせていただいている医事事務委託会社ソラストの窓口担当を紹介させていただくコーナーです。

【(新) 公費担当 梨本さんの巻】

私の所属している公費は、労災・公災・自立支援・特定疾患・生活保護などの各担当に分かれて業務を行っています。公費の中で、私は生活保護の医療扶助を担当しています。主な業務内容は生活保護を受給されている患者様の入退院の管理と保険福祉事務所への連絡、各意見書の管理と医師への書類作成依頼、医療券の保険入力業務、およびレセプト請求前における公費負担者番号と受給番号のチェックなどです。

私が業務を行うに当たり気を付けている事は次の三点です。まず一つ目は、役所への早めの返送です。作成済みの意見書をできるだけ早く役所に返送することで、医療扶助が円滑に行われるようにするためです。二つ目は、保険入力時の受給番号等の誤入力を無くすことです。間違えるとレセプトの請求ができなくなり、医療費の請求が遅れてしまうからです。三つ目は、患者様の大切な個人情報を扱っているという意識を強く持つことです。患者様の住所は言うに及ばず、病名や入院歴など多くの情報を知り得てしまうので、自分の不注意から患者様の情報が漏れてしまうことがないよう細心の注意を払っています。

今後も業務を円滑に行うことができるよう、以上の点に気を付け、また各担当者や他部署と連携を取れるよう、コミュニケーション力をもっと身に付けて行きたいと思っています。

その他のお知らせ

【「急性期・総合医療センターの最新治療がわかる本」が出版中です！】

府民の皆さま向けに、当センターで行われている最新治療をご紹介します書籍を出版しました。当センターの医師や看護師らが、分かりやすく、簡潔に、しかも必要な情報はきちんと把握できるように執筆しています。

この本は、いわゆる医学書や診療ガイドブックではなく、健康なときから病気にかかったときまで、府民がよりよい治療を選択する際に役立つ健康情報を掲載しています。病気を理解し、よりよい治療を選択するための案内書としてご活用いただければ幸いです。



価 格：1,998 円（消費税 8%込）

◇当センター内のローソンや近隣の一般書店等で販売します。

◇当センター内のローソンでは、下記の方を対象に割引販売を実施します。

- ・当センターの診察券をレジで提示いただいた方
- ・当センターで開催されるイベント参加者にお配りする書籍の案内リーフ（割引券付き）をレジで提示いただいた方

割引価格：1,700 円（消費税 8%込）

【医療費の支払いはキャッシュカードでできます！】

当センターの医療費自動精算機は、デビットカード対応となっておりますので、ほとんどの金融機関のキャッシュカードでお支払いができます。

これらの金融機関は J-Debit に加盟していますので、キャッシュカードに自動的にデビット機能が付与されているからです。（ただし、キャッシュカードでお支払いいただいた場合は即座に口座から引き落とされることとなるため、口座に引き落とし金額以上の残高が必要ですのでご注意ください。また、デビット機能が付与されていないカードもありますので、ご注意ください。）

このため、医療費の支払いのための現金を持たなくても、キャッシュカードさえあればお支払いが可能です。

また、引き落としの手数料は不要ですので大変便利です。是非ご利用ください。なお、合わせて一般のクレジットカードでのお支払いもできます。

【やすらぎ通信はメルマガで！】

「やすらぎ通信」は、メルマガでも配信しております。ご希望の方は、当センターホームページの「メールマガジン申込み」からアドレスを登録していただきますようお願いいたします。なお、ホームページの検索は、「大阪府立急性期・総合医療センター」にて可能です。

当センターは、当センターが「希望の医療空間」「よろこびの医療空間」「やすらぎの医療空間」となるよう日々努力しています。